



2012年1月5日

スバルの米国販売が過去最高を達成 ～ 米国において4年連続で前年実績を上回る唯一のメーカー ～

富士重工業の米国販売会社スバル オブ アメリカ インク^{*1}は、2011年12月の販売台数が33,701台、2011年暦年の販売台数が266,989台となり、単月、年間のいずれも過去最高を達成したと発表しました。東日本大震災による減産の影響を受け、在庫不足が続く中での新記録達成となります。なお、暦年販売台数は3年連続で過去最高を更新し、さらに4年連続で前年実績を上回り、スバルは米国での販売実績が4年連続で前年実績を上回る唯一の主要メーカーとなりました。

^{*1}Subaru of America, Inc.: ニュージャージー州チェリーヒル、会長兼社長 日月丈志

スバルは米国においてレガシィ、アウトバック、インプレッサ、フォレスタ、トライベッカを販売しており、グローバルモデルとしてのパッケージや、シンメトリカルAWDの信頼感のある走行性能などが米国においても好評をいただいています。

また、リニアトロニック（CVT）、新型水平対向エンジン、ボディ軽量化などの燃費向上への取り組みにより、走行性能と環境性能を高レベルで両立し、新型インプレッサではAWDでありながら36MPG（ハイウェイ走行燃費、自社計測値）とクラストップレベルの燃費を達成しています。

さらに、世界各地で高い評価を獲得している安全性能では、米国においても昨年12月に発表された、IIHS^{*2}（ハイウェイ安全保険協会）が行う2012年の安全性評価において、スバルの全モデルが最高評価の「トップセイフティピック」を獲得し、3年連続で、モデルラインナップ全車が「トップセイフティピック」を獲得した唯一のメーカーと評価されています。

^{*2}Insurance Institute for Highway Safety: 米国保険業界の非営利団体

このような商品力、環境性能、安全性能の向上への取り組みが、昨年11月に発表されたAutomotive Lease Guide（ALG）が発表するResidual Value Awardsにおいて、スバルブランドが3年連続でBest Mainstream Brandを受賞するなどの高い残存価値評価につながっています。これが販売網充実への取り組みと共にさらに販売に寄与するという良い循環を生んでいます。

富士重工業は、スバルのブランドステートメントである“Confidence in Motion”で掲げる、企画・開発から販売・サービスにいたるすべてのプロセスでの「安心と愉しさ」の提供、を通じてお客さまの期待に応え、更なる成長を目指します。

米国でのスバル販売実績（暦年1月～12月）

年	販売台数	前年比
2007年	187,206台	▲6.7%
2008年	187,699台	0.3%
2009年	216,652台	15.4%
2010年	263,820台	21.8%
2011年	266,989台	1.2%



アウトバック（米国仕様）